

行田市基本構想アドバイザーボード 委員の皆様からのメッセージ

基本構想策定にあたり、監修をいただいた5名のアドバイザーボード委員の皆様からのメッセージを紹介します。（50音順・敬称略）

関根 正昌 株式会社埼玉新聞社 代表取締役社長



人が集まって町ができる。太古の昔から「なにかが獲れる」とか「雨風が凌ぎやすい」とか「敵が攻めてきたとき守りやすい」とか様々な理由からその地方でそれなりの好適地の目星がつけられ、人が集まってきたのだろう。そうやって長い年月を積み上げてきた町のひとつ行田がいま、人口減少の波にさらされ苦しい表情を浮かべている。「生活の市内完結化の探求」「雇用の創出」「子育て環境の充実」などが求められ、それを後押し・下支えする「モビリティ（移動手段）」「通信手段」の拡充・利活用をより推進しなければならないだろう。一朝一夕にできることではないが、古墳の時代から、この土地の良さを知り、守り、発展させてきた人々の血を受け継いだ方々が知恵を出し合えば、行田を守ることができると思っています。浮き城も守れた人々であり、土地なのだから。

根本 要 スターダスト☆レビュー ボーカル・ギター



生まれ育った行田のアドバイザーボード委員のご依頼を受け、本当に嬉しく思っています。

僕自身はいわゆる芸能、エンターテインメントの人間です。市の行政や改革などは行田市長を軸に頑張っていたんだけど、僕はこの街で暮らす楽しさや希望を膨らませたいと考えています。

行田を離れて40年、年に何度かは帰りますが、街も暮らしもずいぶん変わりました。

まず僕がしたいのは、今の行田を知ること。

そのためには、皆さんとお会いし、この街に暮らす思いを聴きたいと考えています。

討論会でも講演会でもいいです。

それが僕のアドバイザーボード委員としての最初の一步と考えています。

行田の街の未来は皆さんの声の中にあります。

それを僕は汲み取って、少しでもこの街のお役にたてたら幸せです。

長谷川 真一 学校法人ものづくり大学 元理事長



このたび行田市の今後の発展をめざした「基本構想」が策定されたこと、まことにおめでとうございます。基本構想は足袋産業などものづくりの経験の歴史も踏まえて、行田の現状と課題を分析し、将来のまちのすがたをビジュアルな書き方で整理しており、とても斬新なものです。そして、未来に向けた重点政策の最初に「子育て支援の強化と教育の充実」が掲げられており、高く評価できます。基本構想を受けて、これから具体的な施策の実施の段階に入りますが、行田の市民の皆さんが心を合わせ、力を合わせて素敵なまちを作りあげていくことを期待します。私どもも精一杯応援したいと思います。プレープレー行田！

深町 加津枝 京都大学大学院 地球環境学堂地球親和技術学廊 准教授



かつて近所の川は水晶のように美しく、おかずになる魚やシジミがたくさん採れ、農地、樹林地にはイナゴやカブトムシなど四季折々の生き物がいました。人々の記憶にあるこうした風景に出会うことは難しくなりましたが、今でも身近にある自然が、時に疲れた心を和ませてくれることがあります。行田市には、こうした自然とともに、埼玉古墳や足袋産業など、かけがえのない歴史や文化があります。気候変動や自然災害に柔軟な対応をしながら、行田市ならではの自然や歴史、文化が活かされ、そして創造された未来の暮らし、産業の姿が見えてくるといいなあと思います。基本構想がそのための礎、道標の役割を担っていくことを期待したいと思います。

政所 利子 株式会社玄 代表取締役



TABI・旅・「To be continued…」

～振り返れば、未来が見える～

正解が、見えにくい今日、壊れかけて見える景色の中、信じた答えのひとつが、ここにはある。

古墳群・忍城址…はじめ、数々の歴史群、「時の旅」に出掛けませんか。

振り返れば、そこに未来予想図が見えて…。

足袋産業の技能資産、ものづくりの未来を支える街。足袋蔵を訪ねてつつ、「ものづくりのお楽しみ」を実感しませんか。

暮らしや旅を支え、多くの踊り手と舞い続けて…。そう、足袋を履いて旅しませんか。

行田を旅することは、未来を拓く道筋づくり、トレジャーハンターとして、新しい「TABI」をおすすめします。
～行田ファンダム「TABI・ジャン」からの提言～